



夢協だより

発行：夢ある稲生まちづくり協議会

電話386-0059

地域計画策定特別委員会報告

地域計画策定特別委員会は委員8名を中心に鈴鹿市の支援職員や稲生地区市民センター職員等の協力のもと、2019年11月に検討を開始しました。

6回の打ち合わせとワークショップによって、2025年の稲生地区がみたいまちの姿を描きました。2020年3月の住民アンケートによって現在の住民の方の意識、大切にしていきたいことがらを得て、課題とする部分も見えてきました。一例として住民の方が大切にしたいことの一つ『地域の絆づくり』の観点でのアンケート結果を抜粋します。現役で働く世代（生産年齢世代）が地域活動に参加できる環境づくりが一つの大きな課題としてあげられます。

8月からは ありたいまちの姿をめざす課題設定（対策案）の検討を行っています。

新型コロナウイルス感染防止で3月～6月は会議も満足に実施できず、検討事項をメールでやり取りしての推進でしたが、ようやく7月から夢協の8つの専門部会のメンバーが新たに加わり、ありたいまちの姿にむけて住民の方々が大切にしていきたいことがらを念頭においた課題設定に取り組んでいます。

2021年2月には検討結果をまとめ、優先順位を定め、夢協事業の5ヶ年計画に繋げていく予定です。

地域計画策定特別委員会委員長 鈴木誠治

安心・安全で住みよく、夢ある稲生地区

大切にしたいもの、ひと、文化

（住民アンケート結果の高位順）

1. 寺社、史跡、伝統行事
2. ひとの絆や思いやり
3. 緑豊かな自然や農業
4. 鈴鹿サーキットやモータースポーツ

2025年 まちのありたい姿

- ・近所、地域、老若男女で気軽な交流機会が多く、コミュニケーションが活発
- ・防災、防犯意識が高く、災害など何かあったとき近隣で声かけあい助け合える
- ・住民が地域に愛着を持ち、青年や壮年が地域活動に積極的に参加している
- ・（モーター）スポーツ、寺社、史跡、伝統行事を大切に、活かした地区となる
- ・緑豊かな田園や里山を保ち続ける
- ・交通が安全に保たれ、子供たちが公園など屋外でもっと遊べる
- ・特に高齢者が、車がなくても通院や買い物に困らない

ありたい姿をめざした課題の設定

年少者の減少

生産年齢世代は微減

高齢者の増加

2020年 現状

住民アンケート結果は年代で大きな差はなく

・93% 稲生に住んで良かった

・83% 稲生に住み続けたい

と思う一方

・不便や不安に思っていることもある



【検討委員8名+夢協役員3名】

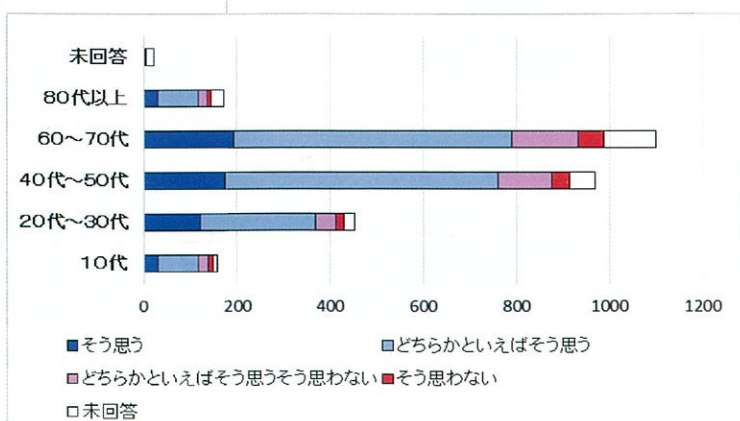
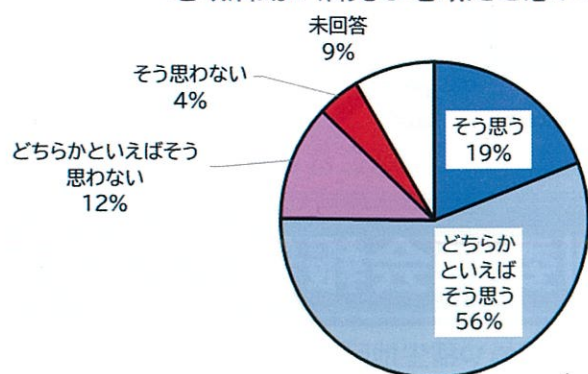
後列左より：飯野 光治（福祉部会長）、平井 里加（新町）、角田 妙子（こがね園）、丸谷 修一（野町東）、矢口 和孝（御崎）、樋口 茂（野村町）、小林 文雄（夢協副会長）
前列左より：濱口 雅彦（グリーソウ）、岩波 正夫（夢協会長）、鈴木 誠治（委員長）、樋口 俊明（大山）



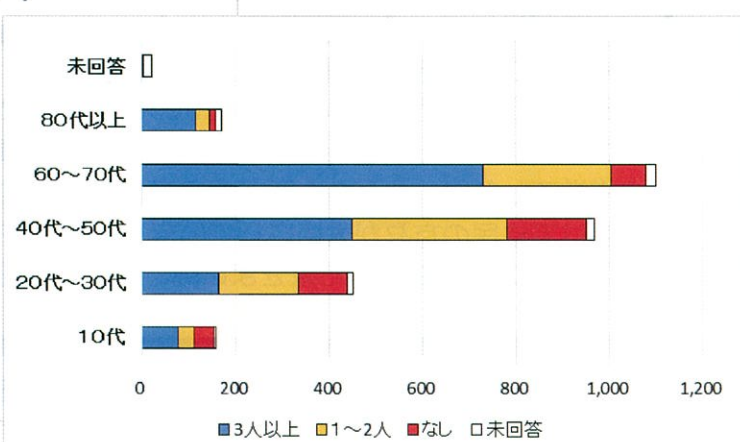
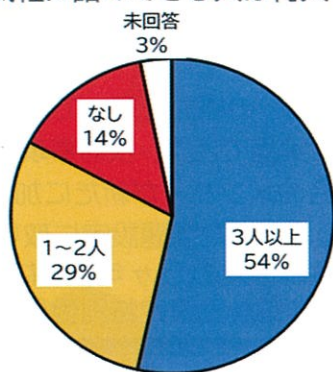
「2025年まちのありたい姿」検討ワークショップの様子

『地域の絆づくり』観点からのアンケート結果（抜粋）

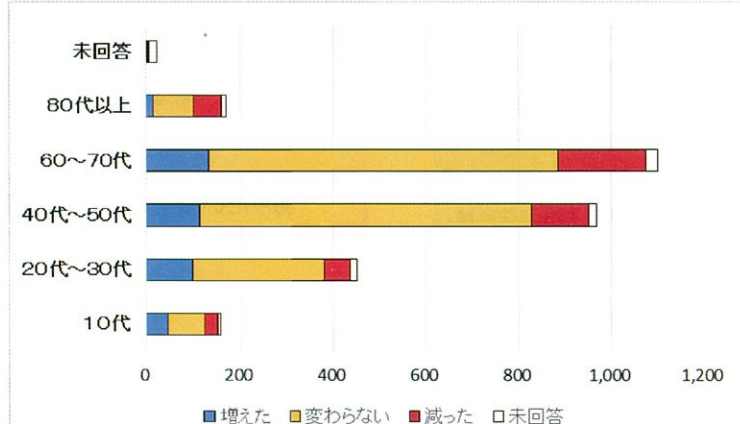
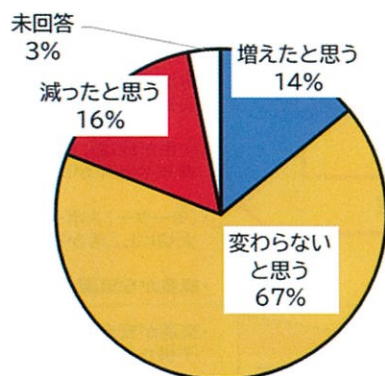
地域活動が活発な地域だと思いますか？



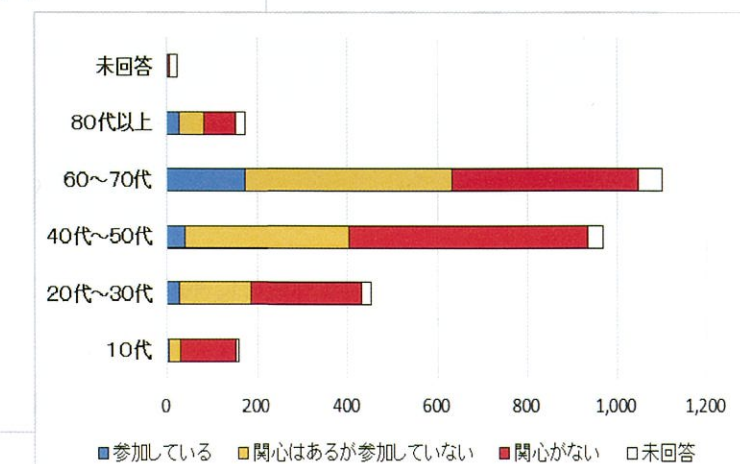
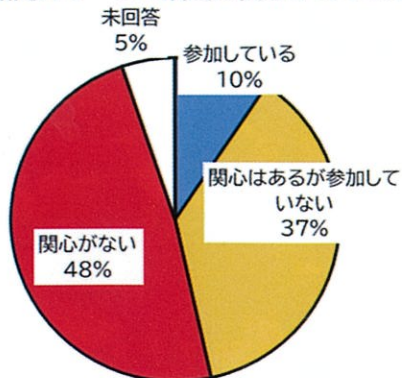
ご近所に気軽に話のできる人は何人いますか？



外出の回数は昨年と比べてどうですか？



稲生公民館内のサークル活動に関心がありますか？



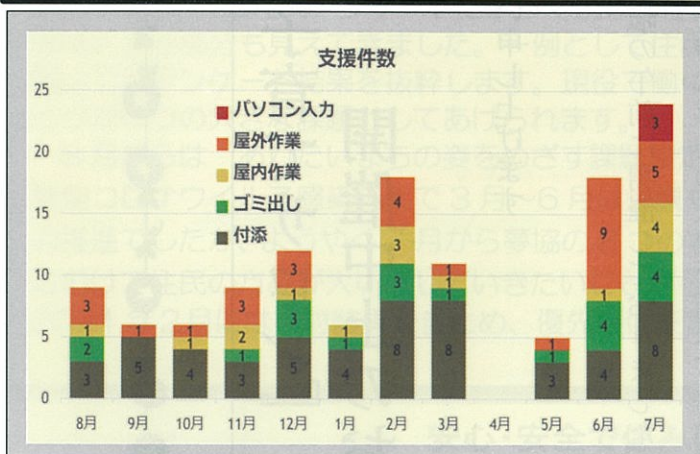
稲生助け愛ネット設立 1 年を振り返って！

一年間の活動を振り返って、助け愛ネットの支援活動は地域の方々から求められているものだったと実感しています。病院付添、外出付添など公共交通機関利用では難しい利用者の希望の時刻に目的地に到着するよう支援活動をしています。また草刈り、庭木伐採など高齢であったり、お一人暮らしでは気になっていてもどうしようもないという状態であったと察せられますが、助け愛ネットの支援で庭がすっきりとし、気掛かりが解消されています。

支援活動で喜びを得ているのは、利用会員だけでなく支援会員も同様です。「良かった」「助かった」と言葉をかけていただいて、支援させてもらった満足感や達成感を感じています。

先日は市議会議員の方々が活動状況の視察に来られました。利用する人、支援する人双方嬉しい活動がもっともっと鈴鹿市全体に広がるように、行政からの後押しをお願いしました。地域の皆様と共に助け愛ネットを育て、成長させていきたいと思ひます。少しでも支援できる方は支援会員登録をお願いします。

稲生助け愛ネット副会長兼コーディネーター 片岡美代子



支援項目	利用者数	利用回数	支援者	備考・コメント
病院付添	16人	36回	14人	市内、三重病院等
買い物付添	1人	5回	2人	平田方面、買い物代行あり
外出付添	4人	7回	5人	理髪店
ゴミ出し、草木処理	13人	29回	6人	自治会、処理場搬入
屋内作業				
家具移動	4人	4回	4人	電気製品、棚移動
簡易補修	3人	3回	1人	ドアノブ補修、ペニア補修
電気補修	4人	4回	3人	蛍光灯交換、こたつ修理
大工補修	2人	2回	2人	警備補修で対応できた
パソコン入力	1人	3回	2人	健康上入力作業できないため
屋外作業全般	4人	5回	6人	家の周り全部を清掃・草取り、物片付け等
草刈り	10人	12回	9人	つつい依頼以上に範囲を広げてきれいにした。
庭木伐採	12人	20回	8人	
土木補修	2人	2回	2人	
合計	76人	132回	64人	月平均12回



8/4 除草と垣根伐採の様子
支援者 9 名で実施



Before



After

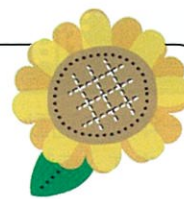


市議会議員の方々への説明会の様子

支援会員募集します。また利用会員、賛助会員も
いつでも受付けています。090-1621-1190にお電話を！



夢協公民館だより



鈴鹿市稲生塩屋三丁目 2-34

TEL059-387-0479

令和 2 年 8 月 20 日

『稲生子育てサロン』

開催中止のお知らせ

暑中お見舞い申し上げます

毎月第三火曜の午前に開催しておりました『稲生子育てサロン』は、新型コロナウイルス感染の状況を鑑み、参加の方々の健康と安全を第一に考慮し、本年度は中止という判断に至りました。

尚、次年度は開催できますように準備など計画を進めてまいりますので、皆様にはお元気で過ごしていただき、その折には多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



主催 稲生地区社会福祉協議会
共催 稲生公民館運営委員会

毎年秋に実施しておりました稲生公民館文化祭、舞台発表(10月18日)と展示発表(11月14・15日)は、開催中止が決定しました事を報告させていただきます。
また来年度よろしくお願いします。